

青少年育成委員会

委員長 新川 宏 人
副委員長 小妻 靖 宏
委員 池畑 慎 一 ・ 江夏 徳次郎 ・ 加治屋 博 人
小玉 将 臣 ・ 富森 大 輔 ・ 吉永 一 範
BRIAN WEE

【基本方針】

子どもたちを取り巻く環境は、急速な少子高齢化や核家族化による多種多様な家族形態、情報化の進展に伴うコミュニケーション不足、地域コミュニティ意識の希薄化や就労形態の多様化による影響により大きく変化しています。未来を担う子どもたちが、変化する社会に対応するには、他者への配慮や社会性、豊かな人間性、自らの可能性を信じ、困難な場面に立ち向かい、自らの意志と責任で行動する自立性を身に付けなければなりません。

我々青年会議所と地域社会が一体となり、多くの人と関わり合いながら様々な実体験や経験を創出します。まずは、子どもたちが何事にも挑戦し、成し遂げることで実感する自己肯定感を育み、家族や仲間から認められることで、自分への自信を深めてもらいます。そこで、子どもたちの健全な心と体を育む事業として、「きりしまんぢだジュニアトライアスロン大会 in 都城」を開催します。本年度は、第10回の節目を迎え、これまで携わってこられた方々への敬意と感謝を表すとともに、子どもたちが支え合いのなかで今の自分があることを実感し、多くの感動を共有できる大会を実施します。さらに、地域に根付いてきたこの大会の新たな方向性を検討します。また、子どもたちがグローバル化社会において、様々な価値観をもつ人々と共存、協調していく為に、家庭教育を担う大人とともに、相手を理解し受け入れる豊かな心や互譲互助の道徳心を育てるように支援します。そして、複眼的な視点で自分の世界観を広げ、どのような環境でも逞しく生きる力や個人としてのアイデンティティを育む例会を実施し、国際社会に生きる日本人としての自覚を養います。

子どもたちが、自ら学び自ら考え主体的に行動する力の育成が、自立的個人として自己を確立していく大きな礎になると確信します。そして、青少年期に達成感から得られる自信が、次世代を担う子どもたちの成長へ繋がり、明るい豊かな社会を築く力となります。

【事業計画】

1. きりしまんぢだジュニアトライアスロン大会事業の実施（及び今後の可能性を検討する協議）
2. 青少年育成例会の実施
3. 学び舎としての規律ある組織風土の再構
4. ボランティアフェスティバルへの参加協力窓口
5. 京都会議への参加企画
6. 公益・共催事業への参画
7. 日本J C、九州地区協議会、宮崎ブロック協議会への協力、支援
8. 出向者への協力支援
9. 会員拡大3名以上

【予 算】

- | | |
|--|-------------------|
| 1. きりしまんぢだジュニアトライアスロン大会事業の実施費（公益の事業費）
（及び今後の可能性を検討する協議） | 2, 6 7 3, 0 0 0 円 |
| 2. 青少年育成例会の実施費（公益の事業費） | 5 3 1, 0 0 0 円 |
| 合 計 | 3, 2 0 4, 0 0 0 円 |